



知っていますか？

# 亜鉛ウイスカ というリスク



## Q. 亜鉛ウイスカとは？

A

亜鉛メッキを施した鋼材の表面から発生する亜鉛のヒゲ状結晶のこと。  
直径は1~2 $\mu$ m、長さは10 $\mu$ m~数mmと非常に小さい。

※1 $\mu$ m=1マイクロメートルは1/1000mm



## Q. 亜鉛ウイスカによるリスクとは？

A

2002年1月社団法人電子情報技術産業協会 JEITA(ジェイタ)のホームページにて、コンピュータ室で亜鉛メッキを施した鋼材から発生した亜鉛ウイスカが浮遊し、コンピュータ機器の中に入り込みプリント基板や端子部分で電氣的短絡(ショート)を起こすことが指摘され、亜鉛ウイスカへの留意と対策が求められています。

### データセンターでの事故事例

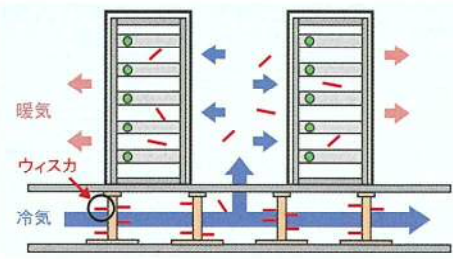
#### 1 一般亜鉛メッキ処理品から亜鉛ウイスカが発生

亜鉛メッキ製品の例



#### 2 メッキ表面から折れた亜鉛ウイスカが空調によって電算機内に侵入

複数のコンピュータサーバーやデータ保管機器等が設置されているデータセンターなどの専用室では、通常24時間床下空調です。  
メッキ表面から折れた亜鉛ウイスカが空調によって拡散され電算機内に侵入。



#### 3 亜鉛ウイスカがプリント基板に付着、短絡(ショート)させシステム障害発生



橋本螺子株式会社

